

2025 埼玉県O-65・70・75サッカーリーグ大会要項

2025/2/22

シニア 65・70・75 運営委員会

- 1、 目 的 65歳以上のサッカー愛好者が集い、健康の維持・増進と仲間との協調と親睦を図り、生涯スポーツとして明るく、楽しくゲームに取り組むことを目的とする。
- 2、 名 称 埼玉県O-65・70・75サッカーリーグ大会
- 3、 主 催 (公益財団法人) 埼玉県サッカー協会／埼玉県シニアサッカー連盟
- 4、 主 管 埼玉県シニアサッカー連盟／埼玉県O-65・70・75運営委員会 (以下運営委員会)
- 5、 期 日 3月から12月の土・日曜日 (含む祝祭日) を主体とする。(但し、平日開催も可能とする。)
- 6、 会 場 埼玉県内のサッカーグラウンド (埼玉 SFA フットボールセンター他)
- 7、 参加資格 (1) 年度中 (4月1日以前生れ) に65歳以上になる方、女子は40歳以上
(2) 当該年度に日本サッカー協会に登録しかつ埼玉県シニアサッカー連盟 (以下連盟) に会員登録した方。
- 8、ユニホーム (1) 埼玉県O-65・70・75リーグのユニホーム着用の事。(上着・パンツ・ストッキング)
O-65・70 リーグ : ピンク・赤・ピンク 白・白・白
O-75 リーグ : ピンク・シルバー (金(O-80)・紫(O-85))・ピンク
白・シルバー (金(O-80)・紫(O-85))・白
(2) 連盟の【資料⑧-1】「2025年度ローカルルール一覧」を適用する。
(3) 各チームは、「フィールド上に (キャプテンとして) 識別できるアームバンドを着用したキャプテンがいなければならない。」との競技規定を順守すること。
その他は、日本サッカー協会競技規定による。
(冬季のインナー上・下はユニホームと同色でも無くても可とする)
- 9、 競技規定 (1) 「O-65 リーグ」
資格「翌年4月1日現在、満65歳以上69歳迄の方」及びバックアップメンバー。
「バックアップメンバーとは、70歳以上を言う。」
当該年度 (公財) 日本サッカー協会競技規定による。但し危険なプレーは禁止する。
(相手に怪我させない、自分も怪我しないをモットーとする)
尚、試合球は5号軽量400g (390～410g) を使用する。
「O-70 リーグ」
資格: 翌年4月1日現在、満70歳から74歳までの方及びバックアップメンバー。
「バックアップメンバーとは、69歳及び75歳以上を言う。」
当該年度 (公財) 日本サッカー協会競技規定による。
但し ①スライディングタックルは禁止する。
②激しいショルダーチャージは禁止する。
③その他危険なプレーは禁止する。
(相手に怪我させない、自分も怪我しないをモットーとする)
尚、試合球は5号軽量380g (370～390g) を使用する。
「O-75 リーグ」
資格: 翌年4月1日現在、満75歳以上の方及びバックアップメンバー。
当該年度 (公財) 日本サッカー協会競技規定による。
但し ①スライディングタックルは禁止する。

- ②激しいショルダーチャージは禁止する。
- ③0-80 以上(金・紫パンツ)への接触プレーは禁止する。
- ④その他危険なプレーは禁止する。
(相手に怪我させない、自分も怪我しないをモットーとする)
- ⑤試合球は5号軽量380g(370～390g)を使用する。
- ⑥その他(監督業務等)

O-75 役員により取り決めた事項を遵守する事

＜バックアップメンバーについて＞

- ① **O-75 チーム**相互間で派遣補充し合う
 - ② 監督は参加者不足(ゴールキーパー含め)の場合、
対戦チーム以外のチームに特定の担当者を通じて要請する。
若しくは対戦チーム以外の監督に要請する。
 - ③ バックアップメンバーの出場時間は60分以内(1試合+20分)とする。
但し、ゴールキーパーは1日80分も可とする。
- (2) 各試合の登録者は事前登録制(バックアップメンバーも含む)とする。
(【資料⑧-2】提出用メンバー表による)
交代して退いた選手が交代要員となって再び出場することができる。
- (3) 本大会で退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以後の処置については、フェアプレー・規律委員会で決定する。
- (4) 本大会中、警告を3回受けた者は、次の試合に出場できずそれ以後の処理については、フェアプレー・規律委員会で決定する。
- (5) シーズンが終了した時点での未消化の出場停止は、翌シーズンへ繰り越す。
但し、警告累積による出場停止は翌シーズンに繰り越さない。

10、 競技方法

- (1) **O-65 リーグ (追加) 6 チーム**で前期・後期に分けてリーグ戦を行う。(12節)
- ① 前期：6 チーム総当たり2回(ホーム&アウェイ)(10節)
 - ② 後期CS(クライマックスシリーズ)リーグ戦：最終順位決定戦(2節)
 - ・前期リーグ戦の1位と2位(グループA)でホーム&アウェイの2試合行い最終順位の1位、2位を決定する
 - ・前期リーグ戦の3位と4位(グループB)でホーム&アウェイの2試合行い最終順位の3位、4位を決定する
 - ・前期リーグ戦の5位と6位(グループC)でホーム&アウェイの2試合行い最終順位の5位、6位を決定する
- ※但し各順位決定戦で合計勝ち点が上位グループより多くなったとしてもグループを超えた上位順位にはならない。
(例：最終勝ち点がグループBの3位がグループAの2位のより多くなった。)
- ＜チーム名＞ エルマノス65、トライアングلز、SEフレンズ(さくら)
シリウス、FC DREAM、チームあらかわ(けやき)
- (2) **O-70 リーグ FFC、ゼルコバ、PTK、Gファイター**の4チーム
4回戦総当たりの24試合を行う。

参加者不足のチームは、他チームからの補充も可能とする。

（この場合はリーグ運営委員長（不在の場合は対戦相手の監督）の了承を得る。）

O-75メンバーは、試合参加時間を60分以内(1試合+20分)とする。

但し、ゴールキーパーは1日80分も可とする。

(3) O-75リーグ プリムラ、G.P.エンペラー、ペレウス、シルバースターの4チーム
4回戦総当たりの24試合を行う。

(4) 勝ち点は「勝利チームに勝点3点」「引分けチームに勝点1」
「敗戦チームに勝点0」とする。

① 各チームの順位は、次のとおり決定する。

・ 総勝点 ・ 得失点 ・ 総得点 ・ 当該チーム同士の対戦成績

② 試合時間（アディショナルタイムは設けない）

・ 各リーグ戦は40分（20ハーフ）とし、ハーフタイムは原則5分とする。

③ 下記の場合は不戦敗扱いとし「0対5」とする。

・ 未登録選手が出場した場合。

・ フェアプレー・規律委員会で決定された場合。

④ メンバー表提出・試合開始30分前に大会本部へ提出する事。

11、審判 (1) 運営委員会で定めた日程表により行う。（日本サッカー協会有資格者---原則として）

(2) 注意事項

① 本部から審判カードを受領する。

② 審判服を着用する。（第4審は黒を基調とした服装でも可とする。）

③ 試合開始20分前に審判・監督ミーティングを行う。

④ 試合開始10分前に選手（交代要員含む全員）の用具等を確認する。

⑤ 試合開始時間を厳守。

⑥ 試合前・後の審判団打ち合わせを実施する。

⑦ 試合結果を本部に報告する。

12、マッチコミッショナー

(1) マッチコミッショナーは、原則としてその試合の審判チーム以外のチームが担当する。

（審判チームに支障（着任の遅れ等）が出た場合及びO-75の試合は、当番チームが担当する。）

(2) マッチコミッショナーは【資料⑧-3】「マッチコミッショナー任務・チェック項目（競技場）」
によりマッチ・コーディネーション・ミーティングを主審と共に実施する。

(3) 「マッチコミッショナーの任務とチェック項目（競技用）」を確認して試合に臨み、試合終了後
速やかに【資料⑧-4】マッチコミッショナー報告書を作成する。

（報告書は主審と共同作成する。）

(4) マッチコミッショナーは警告、退場者が出た場合は、「警告、退場者累積記録」に記入し
リーグ委員長に報告。

リーグ委員長は試合翌々日までに「退場・警告累積記録」を埼玉シニアサッカー連盟
フェアプレー・規律委員会及び委員長に提出する。

13. 当番チームの役割

(1) 日程表により、当番日において次の項目について円滑かつ誠実に行うと共に

① メンバー表を試合開始30分前までに受け付ける。

- ② マッチコッシー報告書・選手登録・審判記録カード・リーグ戦結果を取りまとめ運営委員長に提出する。
- ③ 当番チームは次節当番チームに必要な機材をリーグ戦用具一式リストで引き渡しをする。
 - ・テント（３）・折り畳みテーブル・折り畳みイス（２）・救急バッグ（２）
 - ・ＡＥＤ・WBGT 計測器・ボールバッグ（２）・クーラーボックス
 - ・試合運営用バイインダー収納袋・事務用品バッグ（記録用紙等必要書類）他
- ④ 当番チームは当日までに氷等を用意し当日持参する。
氷は季節に合わせ、最低各２袋以上とする。
(インボイス制度対応の領収書を会計担当に提出する事。)

＊担当理事・リーグ委員長はリーグ戦に必要な書類（選手登録書、ゲーム審判員記録用紙 etc）を準備し、当番チームに説明して引き渡す。

- (２) 雨天等による試合中止は、担当理事・リーグ委員長と協議し決定する。
中止決定後各チームに速やかに連絡をする事。
- (３) グランドの設営と後片付けをする。

- 《設営》
 - ① グランドのライン引き、コーナーフラッグ --- 「当番チーム」
 - ② ネット張り／ゴールポスト --- 「第１試合目２チーム」
- 《後片付け》
 - ① 周辺の清掃（煙草吸殻処理等） --- 「当番チーム」
 - ② ネット／ゴールポスト、フラッグの片付け --- 「最終試合の２チーム」

1 4、試合運営

- (１) 雷の予兆があった場合は、担当運営理事・リーグ運営委員長が協議し判断をする。
担当運営理事・リーグ運営委員長は当番チーム責任者・審判へ速やかに中止を伝える事。
 - ① 試合の開始前 --- 予備日にて再試合とする。
 - ② 試合途中 --- 前半終了している時は、その時点でのスコアで勝敗を決定する。同点の場合は引き分けとする。
但し、前半終了していない場合は、後日再試合とする。
- (２) 雷以外（荒天など）での試合中断の場合は、中断時間２０分間以内の回復がなければ雷による中止と同じ要領で対応する。
- (３) メガネの使用はプラスチックあるいは類似の素材でできたスポーツメガネ以外は使用を禁止する。
- (４) 試合中に於けるネックウォーマーの使用禁止（危険防止のため）
- (５) 救急用品は各チームで用意してリーグ戦時に持参する事。
(マッチコミッショナーはマッチ・コーディネーション・ミーティングで確認の事。)
- (６) 連盟の【資料⑧-１】「2025年度ローカルルール一覧」を適用する。

1 5、熱中症対策（シニア連盟熱中症対策をする事、内容は下記の通り）

- (１) 【資料⑧-４-１】熱中症対策期間における WBGT 値計測表によりマッチコミッショナーが計測し対応する事。
- (２) 両チームベンチ、本部席へのテントの設置。
- (３) 緊急対応用として氷及び経口補水液（OS-1）等を準備する。
- (４) 飲水タイムの実施（飲水タイムの判断は審判委員長・リーグ運営委員長が決定する。)
- (５) 連盟の【資料⑧-１】「2025年度ローカルルール一覧」を適用する。

16、表彰

- (1) フェアプレー賞「O-65・70・75 リーグ各カテゴリー」
基準は警告1ポイント、退場3ポイント（1試合に2回の警告による退場は除く）
全試合のポイント率（ポイント数÷総試合数）同点の場合、リーグ戦上位チームを1位とする。
- (2) シニア連盟奨励賞「O-65・70・75 リーグ各カテゴリー1位チーム」

17、緊急連絡

- 昨年度（2024年度）の事故者ドクターヘリ搬送対応を踏まえ、下記の対応に改定する。
- (1) 試合参加者は、ゲーム等での重大事故、怪我の発生時に備え、
【資料⑧-5a】「緊急連絡先と情報カード」を作成する事。
- (2) チーム監督(監督代行)は当事者の了承の上、全メンバーの
【資料⑧-5a】カードを管理保管する。
- (3) チーム監督(監督代行)はリーグ戦当日、管理保管している全メンバーの
【資料⑧-5a】カードを持参する。
- (4) チーム監督(監督代行)は試合前のマッチ・コーディネーション・ミーティング時、
マッチコミッショナーに全メンバーの【資料⑧-5a】カードを提出する。
- (5) マッチコミッショナーは、試合後のマッチ・コーディネーション・ミーティング
まで管理保管する。
- (6) マッチコミッショナーは、試合後のマッチ・コーディネーション・ミーティング
時に【資料⑧-5a】カードを当該監督(監督代行)へ返却する。
- (7) チーム監督(監督代行)はリーグ戦全日程終了後、管理保管していた
【資料⑧-5a】カードを全メンバーへ返却する。

18、その他

- (1) 本リーグ戦（交流試合も含む）に参加する者は頭書の目的に則り、良識のある社会人として行動するものとする。
万一、不適切な行為が有った場合は各チームの代表者、監督を通じ注意を促す。
- (2) 本大会要項に規定されていない事項については、運営委員会において協議・決定する。

Ｏ－６５統合により改定	２０２０年２月２２日
見直し及びＯ－７５チーム数増加により改定	２０２２年２月２３日
一部見直し改定	２０２３年２月２６日
一部見直し改定	２０２４年２月２４日
<u>一部見直し改定</u>	<u>２０２５年２月２２日</u>